



～アメリカ研修旅行～

私は、聖マリア学院大学2年生の時にアメリカ研修旅行に参加しました。参加して早6年経過しましたが、参加当時のことを振り返ってみたいと思います。約8日間の日程で、アメリカのロサンゼルスとハワイに行き、成人病院、子供病院、ホスピス、姉妹校のマウントセントメリーズカレッジを巡りました。

研修の中で、印象深かったことを紹介します！まず看護師免許について、日本では一度取得すると永続的な免許ですが、海外では多くの国が2年、5年毎などに免許を更新する必要があります。アメリカは更に州ごとに免許制度が異なっているため、もし別の州で働きたいと思ったときは、試験を受け直す必要があるそうです。さらに、アメリカは看護師の大学院進学率も高いことを聞きました。継続的に学び続けるために大学院に進学する人が多く、また大学院に進学することで免許更新を免除出来ることもあるためだそうです。



もう一つ印象深かったこととして、アメリカには「マグネットホスピタル」という看護師を惹き付けて離さない魅力ある病院として認証するシステムがあることです。このシステムは、看護師の離職防止に向けた取り組みとしてアメリカで始まり、質の高い看護を実践している病院が認証を受けることができます。看護師を惹きつける魅力ある病院であることは、患者様にとってもより良いケアを受けることができ、病院における患者様の定着率にも繋がっていました。

研修の中では、姉妹校のマウントセントメリーズカレッジを訪れ、シスター・カリスタ・ロイ先生と初めてお会いすることが出来ました。これまでの看護を築き上げてきた理論家の先生でもあり、聖マリア学院大学の基盤となるロイ適応看護モデルを提唱されたロイ先生にお会いできたことは非常に感動的な体験でした。私たちに対して講演もしてくださり、少しの関わりだ

けでも、ロイ先生の看護に対する熱い情熱が伝わってきました。

研修のほんの一部しか紹介は出来ていませんが、アメリカ研修に参加してたくさんのことを学び、美味しい食べ物や絶景やアクティビティなど経験し、とても充実した研修旅行でした。日本から一歩外に出てみることで、こんなにも違う世界があるのだと学生のときに実感したことを今でも覚えています。聖マリア学院大学には様々な海外研修や、姉妹校の海外の学生たちと関わる機会がたくさんあります。是非、活用してみてください！

(文・写真提供 助手 飯田知夏)

